

次の10年にむかって！

総文の過去・現在・未来

2008

2018

2028

総文創設10周年を振り返る

「クリエイティブ経済と総文の教育」井口典夫

第1回トークセッション

都市創造のポリティックス：
渋谷・青山 これまでの10年/これからの10年

「青山から都市を見る」團紀彦

「文化装置としての都市空間渋谷を考える」黒石いずみ

「円山町で音風景を遊ぶ・渋谷を読む」鳥越けい子

モデレーター：小林康夫／コメンテーター：伊藤毅

日時：2018年4月29日14:00-17:00（開場13:30）

会場：アスタジオ地下多目的ホール

参加無料・予約不要

<http://www.10years.sccs.aoyama.ac.jp>



2018年4月、 青山学院大学総合文化政策学部（総文）は 「創設10周年」を迎えました。

これからの1年間、「総文の今ここ」から、
これまでの10年を振り返り、
これからの10年を考えます。

連続トークセッション&シンポジウム、研究室企画、
総文フェス等、各種イベントを通じて、
研究者・学生をはじめとする様々な関係者が、
10年を経た今ここで集う、
「総文とは何か？」を発掘・確認・共有・発信する12ヶ月。
あなたと総文をつなぐ特別な1年が始まります！

「総文」には、学部・大学院・ACL（青山コミュニティーラボ）等が含まれます。
そのため本事業は、総合文化政策学会が担当となって進めています。

トークセッションは「学会発表」ではなく「講義」でもありません。
多岐にわたる総合文化政策学会の人々による共同作業、
総合文化政策学会メンバーによる「祭り」です。
来年3月に開催する「クロージングシンポジウム」に向けた
Work in Progressなのです！

ACCESS

東京都渋谷区神宮前5-47-11（大学常青寮跡）
東京メトロ表参道駅B2出口より徒歩5分。
駅より渋谷方向へ。
Found MUJI（旧 無印良品）を右折。
直進し左手の4階建てのビル。



井口典夫

青山学院大学経営学部教授を経て2008年より総文・教授。1956年渋谷区神宮前生まれ。1980年東京大学卒業後、国土交通省入省。1994年青山学院大学に移籍。専門はクリエイティブ経済、創造都市、メディア、文化政策。文化経済学会・文化政策学会理事、国際文化都市整備機構専務理事などを歴任・兼務。近著に『ポスト2020の都市づくり』（学芸出版）、訳書に『フロリダ著『新クリエイティブ資本論』（ダイヤモンド社）がある。

團紀彦

2016年より総文・教授。1956年生まれ。東京大学大学院建築学科/イエール大学建築学部大学院卒。1984年團紀彦建築設計事務所を設立し今日に至る。設計作品として、台北桃園国際空港第1ターミナル、表参道 Hugo Boss、日本橋コレド室町、日月潭風景管理処、2005年愛知万博日本政府原案など。著書に『東京論』（ガーデンシティブックス）、『都市を見る』、『るにんせん』など。

黒石いづみ

青山学院女子短期大学教授を経て2008年より総文・教授。1953年秋田生まれ。東京大学大学院建築学科、米国ペンシルバニア大学芸術学部建築史・理論学博士課程Ph.D。専門は都市と建築の理論・歴史、デザイン史。今和次郎研究のほか都市や地域の生活文化研究を行い、山形県新庄市・東日本大震災後の気仙沼市・表参道地域でまちづくり活動を行う。NYなど国内外での今和次郎展の監修。著書に『建築外の思考：今和次郎論』（ドメス出版）『Constructing the Colonized Land』（Ashgate）など。

鳥越けい子

聖心女子大学教授を経て2008年より総文・教授。1955年生まれ。カナダヨーク大学大学院/東京藝術大学大学院音楽研究科修了。サウンドスケープという考え方をもとに、日本各地の音文化を調査研究しつつ、環境保全からまちづくりに至る、各種プロジェクトを展開。参加プロジェクトに、横浜市西鶴屋橋、水琴窟の東屋、瀧廉太郎記念館庭園整備、立山博物館野外施設「五響の森」等。著書に、『サウンドスケープ：その思想と実践』（鹿島出版会/SD選書）、『サウンドスケープの詩学』（春秋社）など。

小林康夫

東京大学総合文化研究科教授を経て2015年より総文・特任教授。1950年生れ。東京大学大学院人文科学研究所、パリ第X大学ナンテール（テキスト記号学科）卒。専門は、現代哲学/表象文化論/芸術論。著書に『表象文化論講義 絵画の冒険』（東京大学出版会）、『オペラ戦後文化論 1 肉体の暗き運命1945-1970』（未来社）、『君自身の哲学へ』（大和書房）、『こころのアポリア』（羽鳥書店）など。

伊藤毅

東京大学大学院工学系研究科教授を経て、本年4月より総文・教授。1952年京都生まれ。東京大学大学院工学系研究科修士課程・博士課程修了。専門は都市建築史。現在、都市史をさらに展開させる新たな枠組みとして「領域史」を構想中。著書・編著に、『シリーズ都市・建築・歴史（全10巻）』（東京大学出版会）、『伝統都市（全4巻）』（同上、日本建築学会賞）、『都市の空間史』（吉川弘文館、建築史学会賞）、『危機と都市—Along the Water』（左右社）など。